

# 庁舎整備検討特別委員会 閉会中の調査報告

庁舎整備検討特別委員会

委員長 堀田 繁樹

日 時：令和 7 年 7 月 30 日（水）午前 9 時 30 分～午前 10 時 43 分

出席者：堀田繁樹委員長、細川ゆかり副委員長、森 淳委員、望月 卓委員、  
松原栄樹委員、松井圭子委員

説明員：市長、副市長、市長公室長兼危機管理局長、総務部長、総務部次長、管財契約課長、財政課長、管財契約課課長補佐

7 月 30 日に開催された第 5 回委員会では、新庁舎本体約 89 億円、総事業費 125 億円との試算で庁舎整備基本計画案 A 案・B 案・C 案の 3 案について詳細説明の後、各委員から質疑があり、図書館・文化ホールなど文化ゾーンとのアクセスについて、社会福祉センターや湖南中央消防署の建て替え計画進捗状況について、元設計の活用方法などが議論されました。また、家棟川を含めた浸水対策に努めることが指摘されたところです。

新庁舎位置選定の視点として南海トラフ巨大地震の発生も予測される中で、既存の実施設計を最大限活用することとし、効率的・効果的な庁舎整備を進めていくことを確認しました。

本委員会では、新庁舎の整備候補地の設定については、庁舎移転時期、財源計画、環境負荷、物価高騰リスクや周辺施設の利活用などを総合的に判断して、C 案(現東庁舎南側駐車場側)が最適であるとの意見が出され、全会一致で確認されたのでここに報告いたします。